

勝間地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月1日（土） 午後6時～7時30分

【場所】 勝間公民館 集会室

【出席者】 勝間地域住民ほか 計60名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

- ・この計画を進めていく中での人口増加の展望はいかがか。
- ・富海、向島、西浦など周辺地域に対する投資は、どう考えているか。

●庁舎建設室長

「防府生活都心」と呼んだ地域ではマンションなどの建設で人口が増えてきている。庁舎を移転することによって、まちなかのリノベーションを誘発し、都市再生の視点として、居住を誘導し、アクティブシニア層をマンションなどで受け止めるような考えを入れている。

周辺地域に対する投資については、財政的な面では若干、周辺地域にしわが寄ることも考えられるが、できる限り影響を減らすようにしていきたい。

◆質問者2

- ・市民アンケートの結果を教えて欲しい。場所についてはどうだったか。
- ・パブコメの結果とそれをどのように処理したのかについて聞きたい。

●庁舎建設室長

市民アンケートでは、場所については、駅北公有地が良いか、現庁舎敷地が良いかという選択は求めている。なぜかと言うと、何の情報もない中でどちらか選択することになってしまうので。

パブコメについては、現在、結果を公民館などで公表中。50名72件という大変たくさんのご意見をいただいた。

◆質問者3

面積が4分の1くらいになるが、駐車場も含めて、大丈夫か。

●**庁舎建設室長**

7,200㎡だけでは少ないので、11,000㎡位にはしたいと思っている。建物は高層化し、駐車場も一部は立体駐車場にして、台数を確保する。

◆**質問者 4**

現庁舎建替を前提に意見を言いたい。まず、災害に優位である。警察、保健所、ソラール等近くにある。その辺をどのように検討したか。

●**庁舎建設室長**

災害に対しては、建築の仕様で、ほぼ対応できるとしており、設計段階で検討していきたい。

官公署との連絡については、ホットラインの設置やテレビ会議の導入を検討するなどしたい。

◆**質問者 5**

新しい案の庁舎のエリアはいびつな形の土地。区画整理をきっちりやって、昼間の人口を増やす予測などを具体的に持っているか。

報道などでは60%以上が反対、市議会でも反対が出ており、それらの説得についてどのように考えているか。

●**庁舎建設室長**

昼間人口の予測は出していないが、防府市は現在、幸いにも人口は社会増であり、あまり悪いシナリオにはならないと思っている。人口減少を防ぐには、魅力あるまちであることや雇用が必要であり、状況を考えつつ計画を立案していきたい。

パブリックコメントは多数決を問うものではなく、多様な意見を吸い上げるもの。計画を作ったばかりであり、今後、当面は、懇切丁寧に説明していく。

現庁舎での計画を作りたい、比べてみたいというのも人情だが、予算も必要なことでもあり、無駄遣いにならないよう、慎重に考えたい。

◆**質問者 6**

- ・パブコメはどの年齢層からの意見が多かったか。
- ・若い人たちの意見を吸い上げる機会を設けないか。
- ・公会堂、文福は、今後どうなるか。

●**庁舎建設室長**

パブコメでは年齢は記載されていないので不明だが、年配の方が多かったような印象はある。庁舎に関わらず、まちづくりの施策などにも絡めて、ワークショップなどの手法で若い人たちの意見を聞いてみたい。

公会堂は耐震改修の方針で舵を切っているが、文福はあり方も含めて現在ゼロベース

で検討中である。

現庁舎跡地は、すぐに売ってしまうと、資産がなくなってしまってよろしくない、企業誘致の種地などで活用できるのではないかと考えている。

●市長

色んな角度から検討の輪の中に入れていただいていることに感謝申し上げます。

今のまちづくりの中で、防府市が鉄道高架事業を立派に立ち上げた、現在の駅の状況、今の状況とかつての状況を想像してみてください。多くの人々のご協力、鉄道高架事業は延長6キロほどの大事業であり、華城から松崎、勝間など、地権者の方々にご協力をいただき、ものすごいお金をかけて防府市はまちづくりをやってきたということ。

私は、平成10年に市長に就任したが、まず、行政改革をやり、同時に合併の議論にも積極的に取り組んだ。合併はうまくいかなかったが、進めていた行政改革がころばぬ先の杖になり、今では県下で一番いい財政状況と言われたりもする。合併していたら、庁舎の話も今こうしてできていない。

これまでクリーンセンター、ソラール、スポーツセンターなどいろいろな事業をやってきたが、いずれは庁舎をなんとかしなければと、平成10年に就任して平成11年3月には庁舎の基金積立の議案を出した。そのときは否決されたが、平成13年にもう一度、議案提出して可決され、それからずっと積み上げて、28年度末に3億円、その前年に5億、その前も3億、前の市長選の前には5億円積み立てている。庁舎は作らざるを得ないもの。だが、庁舎の建設には、国は一銭もくれない。自分たちの力で将来の役所を作っていかなければならない。私は、新しい庁舎で働きたいという思いは毛頭ないが、後々の若い人たちが活用し、利便性を図っていくために庁舎は絶対に必要だと思っている。今の庁舎ではエレベーターも付けられない構造になっている。

100億円くらいかかる庁舎をどこに作るのが良いかということを考えたときに、先人が努力をされてきて、鉄道高架事業、再開発事業をやり、500億円くらい投入してきた努力の上に私たちが今あることを考えれば、その気持ちとお金を無駄にすることは許されない。

色々なことを考えながら、ご協議をいただってきた結果、とりあえず用地の選定としては、駅北の土地がよいでしょうとなった。面積が少ないのをカバーするためには、上に建てられる。5階まで市役所でその上にはホテルとか、そういうことも十分ありえる、どういうプランニングをしてまちづくりの視点の中で巨大な投資を活かしていくか考えていかなければならない。

人口はどうなっていくんだろうとか、他地域の方々との不公平感はないとか、私もいつも思っているが、向島には5億円かけて公民館を完成した、富海にも重点的に活性化のためにお金を投じ、人も投じており、大道には駅の南北通路を作り、駅舎を作り、多々良学園を防府に留めるために優先的に整備して土地を提供した。小野でも近々、公

民館を建替えるという話があがってくる。なぜ、中関にばかりスポーツ施設をたくさん作るのかと、よく言われるが、中関の広大な土地を有効活用するという意味において、一つの大きなまちづくりの一環として活着ていると思っている。

煎じ詰めると、私は、動かざるものを中心に、まちを作っていくべきと考えている。1100年鎮座している天満宮、110年今の場所にあるJR防府駅、そして港。これらを見据えながら、どこに市役所をもっていくとか、病院はどうかとかいうことは、今を生きる人の知恵を活用して考えていかなければならないと思っている。

今日から全地域を回る中で、今、私たちは何をなすべきか、ということの説明する責任の中でやらしていただこうと思っている。

庁舎を移すには議会の3分の2の議決が必要だが、それを安易な形でやっていくべきではない。ひとつもあせっていないし、急いでもない。

しっかり説明をしながら、どこかの段階では、市民の皆さんのアンケートなどを取ることも必要になるかもしれないし、足りないところは、まだ、何回でもこういったことをやっていく必要があるのかもしれないとも思っている。色々なことを考えながら、取り組んでいかなければならない。

今日ご参加いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

◆質問者7

PFIはどの程度考えているか。また議会への対応はどうか。

●市長

まず、場所を決めなくてはいけない。

例えば、ディベロッパーを数社呼んで、この場所でこれだけの土地とこれだけのお金を市が出しましょう、足りなければ自分で買ってくださいと。ホテルだろうと老健施設だろうと、あなたの腕次第ですと。今後60年間2億円ずつ市は家賃を払いましょうと。

ただ、何をするにしても場所が決まらないとできない。

議会のことはよくわからないが、例えば、今の市役所の土地に80億円投入して夢を生む可能性があるかというとならないと思う。

駅北に移ると現庁舎は空地になる。いろいろな思いはあるが、安直に売ったりしないでおきたい。

PFIは絶対に考えないといけないと考えている。